

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/06/06号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

続く綱引き、FRB vs インフレ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



米国と英国のLong weekend で短い一週間となりましたが、週中にADP雇用統計、金曜日には政府の雇用統計の発表がありました。まずADP雇用統計では、市場予想よりも低いNonfarm Payrollでゴールドは上昇しましたが、金曜日の政府の雇用統計では逆に市場予想の32.8万人増に対して39万人増とよい数字になり、長期金利は急騰、ドルインデックスも上昇、直前に1870ドルまで上昇していたゴールドは下落、一週間の終わりには1851ドルとなりました。この数字は、今後のFRBの金利上げに対するゴースサインとして受け止められており、ゴールドが反落したのもそのせいです。雇用が予想よりも好調であるということは経済もそう簡単にはスローダウンしないということから、これでおそらく6月そして7月の0.5%の利上げはほぼ確実でしょう。しかし一方インフレの勢いは衰えていません。(だからFRBは利上げを急ぎたいわけですが) WTI原油は120ドルと3月以来のレベルに上昇。我々の生活の根源となるエネルギー価格の上昇が続く以上そう簡単にインフレは治まることはなく、インフレに対する警戒感がゴールドの下値をサポートしていると思います。結果的にFRBのインフレ対策としての金利上げの動きと、インフレ、そしてそれに続く不景気の可能性との綱引きにより、ゴールドは1800-1900ドルの間、そして中心値としてこの1850の近辺での動きがまだしばらく続きそうです。KITCOが毎週じっしているアナリストのアンケートも、市場関係者(プロ)のアンケートでは強気47%、弱気36%、中立20%と、まさにこの綱引きが反映されています。しかし、対象を投資家にしてみると強気70%、弱気18%、中立11%と、強気の投資家の割合が大きく、実際のインフレに直面している人々はゴールドに成り行きに強気という結果が出ています。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレマー)をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

ゴールド以外の貴金属-シルバー 8

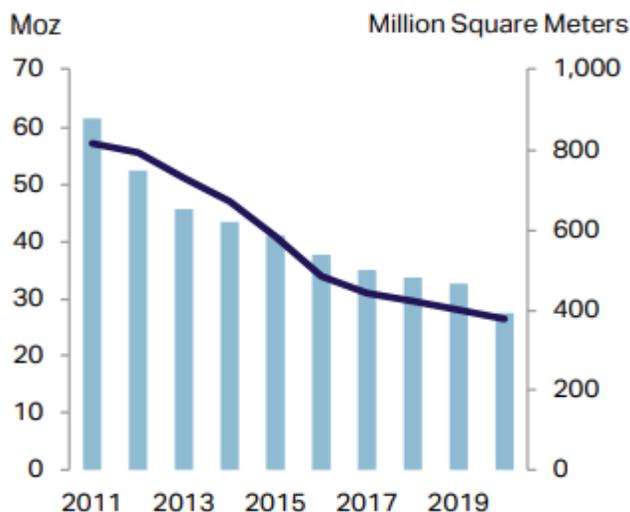
「シルバーの需要 3」

c. フィルム需要

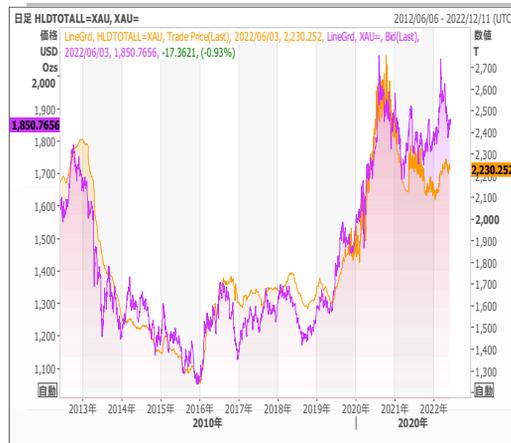
最初にも触れましたが、昔はフィルム（感光材）需要が、シルバーの最大の需要でありました。コダックやフジフィルムと言ったフィルムメーカーがもっとも大量にシルバーを使う需要家でしたが、デジタルカメラそれに続くスマートフォンによる写真のデジタル化により、この分野のシルバー需要は激減しました。10年前は1600トンだったものが、現在は895トンほぼ半減しています。しかしいまだにあるフィルム需要は主に医療用のレントゲン写真と映画のフィルムですが、この両分野ともにやはりデジタル化がすすみつつあり、今後もフィルム需要は減少傾向が進んでいくことが予想されています。

b. (フィルム需要とフィルム製造量)

Photographic Demand & Paper Production



Source: Metals Focus, Photofinishing Newsletter



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

